

校長あいさつ



石川県立医王特別支援学校長 山本 智秀

本校は、昭和50年4月に石川県立医王養護学校として開校し、昭和57年5月に現在の校舎へ移転しました。県内唯一の「病気療養しながら学べる」特別支援学校として、明朗・友愛・自主の校訓のもと、児童生徒の能力や可能性を育む教育を推進し、知・徳・体のバランスのとれた人格形成に努めております。

4月1日現在で、高等部2名、病棟訪問教育（ベッドサイド学習）は小学部5名、中学部2名、高等部6名の計15名が本校に在籍し、小松みどり分校には、小学部1名、中学部4名の計5名が在籍しております。それぞれの児童生徒のニーズに応え、各自の夢や希望が叶えられるように教職員一同、愛情を持ち、個に応じ寄り添った教育を実践しています。

今年度も重点目標として下記の項目に取り組みます。

- ①教育活動では、生きる力の育成、教職員の専門性の向上及び働き方の工夫、安心安全な学校づくりを目指すとともに、保護者・病院・地域等との連携。
- ②センター的機能では、小・中・高・特別支援学校や関係諸機関と連携し、情報の交換・共有・提供に努め、前籍校や病院との連絡を密にして、児童生徒に即した支援の充実。

皆様のご理解とご協力を賜り、児童生徒一人ひとりの育成および成長を目指して、全力で取り組んで参ります。今後とも、よろしくお願いいたします。